

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	金融テクノロジー I		TDB211
講義名 (コード)	金融テクノロジー I		TDB211
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	デジタル・ビジネスコース	単位数	2
授業担当者	池田 一男	時間数	30
成績評価教員	池田 一男	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
目的 (位置づけ)	銀行はじめ金融機関の役割と歴史をふまえ、技術革新がもたらす新しいキャッシュレス社会、FinTech社会、そしてスタートアップの資金調達を学ぶ
到達目標	各種金融機関の役割と創業融資の手段を理解すること
全体の内容と概要	講義が主体だが、流通キャッシュレスや株取引等特定のテーマについて体験的視察を旨める
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点)	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

#### 4. 本授業科目の授業計画

回	日程	講師	授業内容
1	4月20日	池田一男	金利のはなし（1） 住宅ローンの金利、カードローンの金利、日銀の貸出金利・・・ 金利の法律、規制
2	4月27日	池田一男	金利のはなし（2） 金融業の資金調達と貸金 利益の構造
3	5月4日	授業なし	
4	5月11日	池田一男	金融業とはどんな仕事か（1） 金融業の種類 （銀行、信用金庫、地方銀行、消費者金融、政府系金融機関・・・） 貸出しの種類 預金の種類 手数料収入 その他の業務
5	5月18日	池田一男	金融業とはどんな仕事か（2） 金融業の種類 （銀行、信用金庫、地方銀行、消費者金融、政府系金融機関・・・） 貸出しの種類 預金の種類 手数料収入 その他の業務
6	5月25日	池田一男	金融機関での借入手続き（1） 借入の前提（法人、個人、反社会的勢力のチェック） 借入に際して整理しておくべきこと （計画、金額、資金用途、借入期間、返済方法、保証・担保）
7	6月1日	池田一男	金融機関での借入手続き（2） 借入金融機関の選択 借入の手続き（銀行への説明、借入申込書の書き方、準備する資料、登記事項証明書、印鑑証明、資金用途を説明する書類・・・）
8	6月8日	池田一男	金融機関での借入手続き（3） 借入金融機関の選択 借入の手続き（銀行への説明、借入申込書の書き方、準備する資料、登記事項証明書、印鑑証明、資金用途を説明する書類・・・）
9	6月15日	富士通 安留義孝	流通市場と金融テクノロジー
10	6月22日	富士通 安留義孝	世界のキャッシュレス決済
11	6月29日	ソラミツ 宮沢社長 (並河校長)	仮想通貨の最新市場動向
12	7月6日	池田一男	景気、経済の変動と金融 バブル景気と平成の経済停滞
13	7月13日	池田一男	金融機関での借入手続き（4） 返済が苦しくなったらどうするか？返済が苦しい企業に対する銀行の考え方 制度融資の活用 投資家からの出資と銀行借入 企業の精算、倒産
14	7月20日	池田一男	振り返り試験（4択を想定）
15	7月27日	池田一男	テストの解説並びに講評

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	